

博物館を利用した総合的な学習の時間展開例

1. テーマ 「ふるさとの山、皿倉山ってどんな山？」（小学校 中学年 総時間数 30 時間）

2. ねらい

皿倉山について調べたり、自然と触れ合ったりする活動を通して、地域の自然のすばらしさに気付くことができる。

皿倉山について自分なりの課題をもち、主体的に問題解決に取り組むことができる。

インタビュー活動や現地での調査、博物館を利用した調べ学習などを通して問題解決の方法を身に付けることができる。

3. 教科との関連

第3学年 社会科 みんなのためのしせつ
わたしたちの北九州

第3学年 理科 植物をそだてよう
チョウをそだてよう
こん虫をしらべよう

第4学年 社会科 わたしたちの福岡県

第4学年 理科 季節と生きもの

4. 活動計画

配時	主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点
	<p>第一次</p> <p>皿倉山について知っていることを出し合ったり、話を聞いたりする。</p>	
2	<p>1 皿倉山について知っていることを話し合う。（一斉学習）</p> <p>（1）遊びに行った経験や、麓から見てわかること、知っていることを出し合う。</p> <p>（2）皿倉山についてよく分からないこと、詳しく知りたいことをまとめる。</p>	<p>校歌にもよく登場する身近な山だが、知らないことも多いことに気付かせ、もっと皿倉山について知りたいという意欲をもたせるようにする。</p>
5	<p>2 皿倉山について調べる。（一人調べ、一斉学習）</p> <p>（1）身近な人に皿倉山について知っていることをインタビューする。</p> <p>（2）皿倉山の自然について詳しい人をGTに迎え、お話を聞く。</p> <p>（3）知っていること、インタビューなどで分かったことをまとめる。</p>	<p>「昔、皿倉山で遊んでいた。」「皿倉山でイノシシを見たことがある。」「サルがすんでいるようだ。」など、皿倉山を身近に感じるような話を専門家や地域の方などから聞く。</p>
	<p>第二次</p> <p>グループごとに分かれ、それぞれのテーマに沿って調べる。</p>	
6	<p>1 皿倉山に登ってテーマ別に調査したり、自然と親しんだりする。（グループ学習）</p> <p>（1）調べたいテーマごとにグループ分けを行い、皿倉山に登る計画を立てる。 （グループ分けの例「動物」「植物」「昆虫」「施設」）</p> <p>（2）グループごとにデジタルカメラで山の写真（草花、昆虫、鳥、施設など）を撮る。</p> <p>（3）グループごとにテーマに沿った調査を行う。</p> <p>（4）ネイチャーゲームを行い自然と親しむ。</p>	<p>児童の興味・関心に応じてグループ編成を行う。</p> <p>「皿倉山とそのとなりの帆柱山が校歌に出てくる学校をさがし、地図にしてみよう」といったようなテーマも考えられる。</p> <p>児童のテーマに応じた登山コースを組むようにする。</p> <p>写真撮影やネイチャーゲームをす る中から自然の美しさやすばらしさを感じるようにする。</p>

4	<p>2 皿倉山で新しく知ったことをまとめる。(グループ学習)</p> <p>(1) 皿倉山に登って気づいたことを話し合う。</p> <p>(2) 皿倉山で撮った写真について解説を書く。</p> <p>(3) 皿倉山に登って調べたことをまとめる。</p> <p>(4) もっと知りたいこと、よく分からないことについてリストをまとめる。</p>	<p>実際に山に登ったことで、自然破壊やゴミ問題など新しい視点で問題を見つけた児童もいることが考えられる。このような場合も新たにグループを作るなど柔軟に対応する。</p>
4	<p>【博物館利用本時分】</p> <p>3 博物館に行って、皿倉山について調べる。(グループ学習)</p> <p>(1) 博物館での学習の計画を立てる。</p> <p>(2) 博物館の概要を知る。</p> <p>(3) グループごとに見学する。</p> <p>(4) 情報館のパソコンや図書を利用して調べる。</p> <p>(5) 博物館スタッフに質問する。</p>	<p>事前に博物館との打ち合わせを行い、見学の方法など共通理解を図る。どこを見学すればよいか分からないグループなどには声かけを行う。情報館の利用、博物館スタッフに質問できることなどを児童に伝える。必要があれば環境ミュージアムも利用する。</p>
<p>第三次 調べたことをまとめ、発表会をする。</p>		
5	<p>1 皿倉山について調べたことをまとめる。(グループ学習)</p> <p>(1) グループごとにどのような形でまとめるのか計画を立てる。</p> <p>(2) 今まで調べたこと、集めた資料などを基にグループのテーマに沿ってまとめる。</p>	<p>まとめていく中で再度分からないことが出てきたときは、メールなどを利用して博物館へ質問する。 まとめの段階でもう一度皿倉山登山ができれば行う。</p>
2	<p>2 調べたことの発表会を行う。(一斉学習)</p> <p>(1) グループごとに調べたことを発表する。</p>	
2	<p>3 これからの皿倉山について話し合う。(一斉学習)</p> <p>(1) 自分たちが調べたこと、発表会で知ったことを基にして皿倉山の未来像について話し合う。</p>	<p>皿倉山をもっと知ってもらうためのチラシ作り、山をきれいに保つ呼びかけのポスター作りなどに発展することも考えられる。</p>



皇后杉



山頂から洞海湾を望む



マムシグサ

5. 博物館利用（本時）の展開例

(1) 本時のねらい

- ・博物館の施設の利用の仕方を知り、必要な情報を幅広く集めることができる。
- ・皿倉山についての新しい知識を得ることができる。

(2) 展開（第二次 3）

配時	主な学習活動・内容	指導・支援上の留意点	博物館資料・施設
1	1. 博物館での学習の計画をたてる。	事前に博物館のミュージアムティーチャー（MT）と打ち合わせを行い、見学のポイントを共通理解しておく。	・博物館パンフレット
3	<p>1. 本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 博物館を利用してグループのテーマごとに皿倉山のことを調べよう </div> <p>2. ガイド館で博物館の概要についてのビデオを見て、見学の仕方について説明を聞く。</p> <p>3. アースモール、エンバイラマ館を見学し、北部九州の自然史の大きな流れを知る。</p> <p>4. グループごとに分かれてそれぞれのテーマに沿って調べる。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <pre> graph TD A[自然発見館 など各展示コーナー] --- B[皿倉山の 動物植物 鳥虫] B --- C[博物館 スタッフ 学芸員 MT 展示交流員] B --- D[情報館 図書資料 パソコン検索] C --- D </pre> </div> <p>5. 博物館で調べたことをまとめる。</p>	<p>引率教師の待機場所など、グループ活動中に何かあった場合の連絡方法を知らせる。</p> <p>見学場所を指定するのではなく、情報館と展示コーナーを往復するなど、自由に何度でも見学してよいことを伝える。</p> <p>詳しく知りたいことがある場合、専門の学芸員に質問できることを伝える。（学芸員不在の場合あり）</p> <p>どこを見学すればよいか迷っているグループには声かけを行い、アドバイスをする。</p> <p>調べたい事柄だけでなく、広く北九州市の自然をとらえられるようにする。</p> <p>環境とのかかわりについて調べたい場合は、隣接の環境ミュージアムも利用できるように伝える。</p> <p>友達の間で情報交換をするなど、博物館で調べたことをまとめて学校に持ち帰る。</p>	<p>・ガイド館</p> <p>・博物館の概要説明ビデオ</p> <p>・アースモール</p> <p>・エンバイラマ館</p> <p>・自然発見館 北九州の林 北九州の草原 北九州の大地</p> <p>・ぼけっとミュージアム 甲虫の世界 植物画</p> <p>・生命の多様性館 植物界 動物界 昆虫、両生類 爬虫類、鳥類 哺乳類</p> <p>・情報館 図書資料 展示物、図書パソコン検索 ビデオライブラリー</p> <p>・実習室</p>